

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	港南区民活動支援センター運営事業委託	
事業の実施者	団体等	一般社団法人こうなん区民利用施設協会
	行政	横浜市
事業の目的	港南区域における中間支援組織として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた市民公益活動と生涯学習活動を支援します。	
事業の内容	ア ネットワークの構築 イ 相談・コーディネート ウ 市民公益活動に関する活動の場の提供、活動支援に関すること エ 市民公益活動に関する情報の収集・提供・発信に関すること オ 人材バンク（街のアドバイザー）事業に関すること カ 区民利用施設等との連携による活動支援 キ 講座・イベントに関すること ク その他区長が必要と考える事業	
役割及び責任分担等	次頁の「【別紙】事業の役割及び責任分担表」	
実施期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで	

記入日	令和 5 年 4 月 1 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 一般社団法人こうなん区民利用施設協会 ・記入責任者 港南区民活動支援センターセンター長 氏名： 泉 有子 連絡先： 045-841-9361
	[行政] ・部署名： 港南区地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏名： 松田 博之 連絡先： 045-847-8399

2 事業評価相互検証シート【港南区民活動支援センター作成分】

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・協働契約に則ってセンターが事業計画書・報告書を作成し、地域振興課に提出をしていたので、個々の事業の内容を報告するという認識はありませんでした。今年度より、月に一度の事務連絡会が開催されるようになり、それぞれの事業の情報を共有できるようになりました。
【今後改善が必要と思われること】 ・定例会・事務連絡会において、お互いが考える「協働」についての認識を深めていきたいと思います。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・地域振興課の事業を受け継いだ「地域デビュー講座」では、全5回の講座を協力して運営することができました。次年度は、より綿密な事前の打合せを実施し、地域振興課の「区民企画運営講座」へ橋渡しをしていきたいと思います。
【今後改善が必要と思われること】 ・講座の参加者が次の地域の担い手に繋がるよう、事業ひとつひとつに次を見据えた「しかけ」を施していきたいと思います。 ・ネットワーク会議、ネットワーク施設交流会は、33の区民利用施設等の施設長・職員が一同に集まる貴重な機会なので、ネットワーク施設の情報共有・交流の機会を創出し連携を支援するための取り組みや地域振興課から新しい事業や市・区の方針や考え方なども発信してほしいと思います。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・各区民利用施設の四半期のモニタリングの際に、それぞれの施設の意見等を聴取し、センターに情報提供をしてくれたことにより、事業に活かすことができました。 ・定員等の関係で、センターでは開催できない催しを区役所の会議室を利用して開催でき、より多くの区民にご参加いただける機会を作れました。 ・各区民利用施設のイベント等に地域振興課職員が参加した際に、センターの広報や事業（こうなんひまわりネットワーク、街のアドバイザー等）のPRを積極的に行ってくれたため情報を周知することができました。
自由記入欄
今後も地域振興課との連携を密にするとともに役割分担を明確にし、各事業に取り組みます。

2 事業評価相互検証シート【地域振興課作成分】

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・ネットワーク会議について、計画段階で事業の目的の共有に留まり、その事業の内容や構成について十分に深めることができず、認識にずれがあった。
【今後改善が必要と思われること】 ・令和5年度以降は、事業計画の段階から事業の意義や双方の考える目標を共有し、実施前にも事務連絡会等で事業の構成についてこまめに情報共有することが必要。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・月に一度の事務連絡会の開催により、協働事業の進捗状況と併せて区の生涯学習事業についても理解いただく機会となり、双方で連携した区民活動の支援に繋がった。 ・協働事業で工夫したこと、区の生涯学習事業で工夫したことや研修内容を密に情報交換することで、事業実施にあたり生涯学習の視点を取り入れる工夫をそれぞれが行うことができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・区の間支援組織として、令和4年度に初めて行った自治会町内会向け講座やひまわりネットワーク事業等を通して、連携する機関を増やして欲しい。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・日頃からの密な情報共有や協働事業の実施を通して、双方の仕事・役割への理解が深まり、区民活動に対する支援の質が上がった。 ・協働事業の実施を通して、より良い関係性の構築ができ、スムーズな連携に繋がった。 ・生涯学習事業への出張説明を行うなど、協働事業に留まらず、さまざまな機会で協力し、区民活動の支援を行うことができた。
自由記入欄
・より快適な施設利用に向けて、各種様式の改正に着手することができた。引き続きより良い区民活動への支援について考えを共有し事業実施していきたい。

【別紙】事業の役割及び責任分担表

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
センターの管理運営に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の管理 2 軽微な維持修繕 	<ol style="list-style-type: none"> 1 設備の提供 2 設備の管理に関する調整及び協力
センターの事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワークの構築 2 相談・コーディネートの実施 3 市民公益活動に関する活動の場の提供、活動支援 4 市民公益活動に関する情報の収集・提供・発信 5 人材バンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 講座・イベントの実施 8 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク構築についての調整及び協力 2 相談・コーディネートについての調整及び協力 3 市民公益活動に関する活動の場の提供、活動支援についての調整及び協力 4 市民公益活動に関する情報の収集・提供・発信についての調整及び協力 5 人材バンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 講座・イベントの実施についての調整及び協力 8 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力
機能強化に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク機能とコーディネート機能の発揮 2 地域施設間連携の中核となること 3 地域の担い手の発掘・育成を支援する機能の発揮 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネットワーク機能とコーディネート機能の発揮についての調整及び協力 2 地域施設間連携の中核となることについての調整及び協力 3 地域の担い手の発掘・育成を支援する機能の発揮についての調整及び協力
事業改善に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 横浜市として必要になる事業の検証への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力 2 運営事業団体として必要になる事業の検証についての調整及び協力 3 横浜市として必要になる事業の検証
センターの管理運営にあたり必要となる事務事業に関すること	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計 2 運営事業団体として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 その他、区が行う市民公益活動等に関する施策・事業への協力 	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 横浜市役所内部の連絡調整